

* 村の地名あれこれ *

真狩村には16の字名（地区名）があります。

昭和16年に「真狩別村」から「真狩村」に変わった時に現在の字名が誕生しました。字名には昔の人たちの気持ちがこめられていたり、その土地の様子が表されていたりします。

現在の字名	昔の字名（地名）	現在の字名（地名）の由来
まっかり 真狩	真狩別	本村の中心地ナルヲ以テ村名真狩別村ノ真狩ヲトリテ中心ヲ意味シ字名トシセリ
ひかり 光		東部二位シ陽光出ズル故ナリ
やしろ 社		八幡・村社真狩神社ノ所在地ナル故ナリ
とみさと 富里		殖民軌道停留所名ヲトリテ字名トセリ
みどりおか 緑岡		春秋草木緑ヲ呈シ居ルヲ以テ名称ス
きょうめい 共明	真狩別 真狩別原野	従来共栄部落トシテ称シタルモ類似ノモノ多キヲ以テ改称セリ
みはら 美原	真狩別原野・上目名	平原地帯ニシテ春秋期美原地ノ故ナリ
いずみ 泉	真狩別原野 後別山麓	湧出セル水源地ヲ有スル故ナリ ※真狩村発祥の地
しんよう 新陽	後志山麓	高丘ニシテ終日陽光に恵レシ故ナリ
さくらがわ 桜川	知来別・知来別原野	清冽ナル知来別川ヲ有シ且ツ桜樹多キ故ナリ
なんぶ 南部	知来別	南部人ノ団体移住多キニ依ル
みはらし 見晴	留寿都	高地ニシテ眺望宜敷キガ故ナリ
とよかわ 豊川	オホナイ	水田地帯ニシテ川ノ利用多キナリ

かみさと 神里		神戸団体ノ移住地ナルヲ以テ神戸ノ神ヲトル
かの 加野	オホナイ オホナイ原野	開拓当初ニ於ケル加納・日野両大農場ナル故ナリ
かわさき 川崎	南オホナイ または南オオホナイ	開拓当初ノ川崎農場地ナル故ナリ

(アイヌ語の地名)

チライ・ベツ～「〔魚の〕イトウの・川」

オオホ・ナイ～「深い・川」 ※「オホナイ」も同じ意味

上目名(上・メナ)～「上流の・細い枝川」

(土地の様子からついた地名)

落合(富里)「真狩(別)川に知来別川が落ち合う(合流)所」